

(様式1)

自己評価票

作成日 平成23 年9 月22 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100978		
法人名			
事業所名	グループホーム大洗	ユニット名	三の館
所在地	〒311 -1311 東茨城県大洗町大貫町長峰2922-1		
自己評価作成日	平成 23 年 9 月 22 日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0873100978&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様、職員共に笑顔のあるグループホームになるよう努力している。利用者様の体調変化には日々、毎日きをつけている。急変があった場合には、24時間医療体制は、整えてありいつでも対応している。「自分らしく、生きる」の理念のもと、日々考えながら過ごしている。社訓である「やさしく、しんせつ、ていねいに」の理念も、常に頭にいれて日々努力している。今年も、職員の異動もなく、安定している。本年は、東日本大震災が起き大きな被害がありました。ライフラインが止まり職員が力を合わせ、町役場から食糧や乾電池、飲料水などの物資、近

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念として、「やさしく、しんせつ、ていねいに」があり、それに加え、事業所独自の理念として、「自分らしく、生きる」を掲げている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園児、中学生の体験学習を通して地元の人々と交流することにつとめている。また、3. 1 1の断水時近隣の方から井戸水を無償で9日間頂いたり、七夕用の笹竹を頂いたり地域との絆が深まりました。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用料金の配慮など、(1ヶ月、7万円に設定)、町の方が見学や入所しやすくした。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に1度の開催を進めている。出席率もよく、運営に積極的に意見かわしている。特に今回は3. 1 1以降防災に関して多くの意見がありました。「避難場所の確認(大洗南中)や家族への連絡など」
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	入居状況について町役場からも日頃より連絡をとり実情を伝え協力関係を築き取り組んでいる。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、家族等に説明し納得の上、行っているが、事業所としては、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。職員も、理解している。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待がないよう、日々話し合いを持ちながら、ホーム内研修も行って、職員の意識を深め取り組んでいます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員に成年後見制度の資料を配布し、理解を深めた。入居者の中にも、成年後見制度を、利用している方がいる。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約に関しても、家族に、十分に説明し、納得した上で入所していただいている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を提示している。利用者が何でも話せるように、ひとり、ひとりコミュニケーションを取っている。面会時には、近況報告だけでなく、施設に対する意見や要望を聞き、運営に反映させている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、月例を行い意見交換を行っている。また、その都度、問題点は、話合える環境を作っている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に無理のないようなローテーションを組み、いつでも対応できる人数のもとで、勤務出来るようにしている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の他施設に研修に行ったり、町の研修会に参加している。また、介護福祉士やケアマネージャー試験にも、積極的に挑戦していく機会の確保に努めている。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	3. 1 1の東日本大震災を経験して、同業者と交流の機会が増え、ネットワークづくりが進み、災害時はお互い助け合う取組みをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	随時、要望に耳を傾けながら安心を確保するための取り組みに努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用を開始すると共に、家族の困っている状況や不安なことに耳を傾け、関係づくりをしている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用を開始する段階で、家族と本人の希望をきいて他医院の継続支援など必要なサービス支援を行えるよう対応している。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常的に生活の中で、利用者、職員が良い関係を築きながら、共感を図っている。特に今年は、3.11の大震災があり、ライフラインが止まり、全員が協力し共に支え合う関係をきずいている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を支えていく上だ、家族の関係を密にしながら、検討を図ると共に、本人と、家族の絆を大切に出来るよう努めていきます。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者への家族や友人など面会の時には、居室や面会室で楽しく、ゆっくり過ごせるように支援している。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、孤立しないよう声掛け、皆様が楽しめるような、環境作りをしています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関連病院に行った場合は、サービス終了しても、関係を断ち切らない取組をし相談や、支援に、努めている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の視点に立って、アセスメントを行いチームでの話し合いをもうけて、検討しております。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に情報提供を頂いたり家族から聞きとりをして、安心して過ごせるような、環境作りに努めています。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日誌、ケース記録、申し送りノート、朝礼により一人ひとりの過ごし方、心身状態を把握出来るよう努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	チーム内でのケアカンファレンスを開き、家族の意見を聞いて、現状に合った介護計画を作成している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に日々の状況を記録し、ケアの実践に取り組み、介護計画の見直しに活かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じたニーズ、サービスの支援の多機能化に取り組んでいる。（タクシー利用など）

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署、警察署、ボランティアにも働きかけて入居者の安否の見守りをお願いしている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当、施設関連の医院にない医療科もあるため、家族と相談の上、専門科への受診を家族にお願いしています。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	適切な看護を受けられるよう電話相談し、随時受診や看護をうけられるよう支援している。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族の希望を聞きながら病院との連携を図り早期退院に向けた働きかけをしている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合は、速やかに家族、医師と話し合い、本人の希望、家族の意向を確認しながら対応、方針の共有を図っている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当のマニュアルは、すぐに目のつく所にはあってあるが、定期的、講習、訓練はしていない。月2回訪問診察時、急変時の初期対応について、看護師から指導を受け対応出来るよう備えている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、火災による避難訓練をおこなっていたが、今年の3.11の東日本大震災の様な、大規模地震の場合、建物の被害がない場合は留まり、ライフラインが回復するまで、地域の方や町役場の方と協力体制を築いて災害対策に努めている。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者、一人一人の誇りや、プライバシーに配慮した、ケアに取り組んでいます。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望を、日常聞くようにして、出来る限り自己決定できるよう支援に努めている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自分のペースで、生活して、いただくように、支援しているが、決められた時間の中での生活なので、難し時もあるが、出来る限り希望にそって、支援している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヵ月に1度、理容を行い、本人の希望の髪型にしています。毎朝、好みの洋服に着替えたり、化粧水をつけたり、身だしなみやおしゃれの支援に取り組んでいます。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューは、決まっているが、特別メニューにして、希望の食事が、出来るようにしています。牛乳の甘いのが好きな方は、砂糖を入れたり、好みに応じて食事を楽しむ事が出来るように支援している。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者、一人一人の、食事量、水分量のチェック表を使用し、毎日3食の摂取量の確認を行うと共に利用者個人の、好みを聞きバランスの取れる状態に、支援しています。また朝の習慣でコーヒー、ココアを飲まれる方への支援をしている。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの実施。入れ歯のかたは、入れ歯洗浄剤にて実施。一人で困難な方は、随時介護支援をしています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間でトイレ誘導、見守りをしながら排泄パターンを活かし、トイレでの排泄が出来るよう自立に向け支援を行っている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師と相談の上、便秘薬の服用調節。水分量のチェックや体操、腹部マッサージなどをおこない、個人に応じた対応に取り組んでいます。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	こちらの都合で、午前中、週2回の入浴となっているため、希望やタイミングに、合っていないませんが、体調によっては月～土まで、どの館でも、入浴出来るように、支援している。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	天気の良い日は、日光浴、外気浴をしたり、軽い運動で体を動かしたり、休息したり、安心して、眠れるように、支援しています。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	本人の薬であることを、確認。服薬への安全を図っており、一人一人の、使用している薬の用法と副作用を書き出し、ファイルにとじてあります。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞折、食事のときに、テーブル拭きや、下膳、清拭折、切り絵の作業など、楽しみ事（カラオケ）、気分転換等の支援をしています。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	病院の送迎のとき、季節によってコースを、変えてもらい、花をみたりしている。遠出などはなかなかできないが、去年は紅葉ドライブ、今年は、アクアワールド水族館へ家族の協力があり、出かけてきました。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>管理が難しい利用者が多いが、さいふを所持することへの、支援はしている。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>年賀状、礼状など、手紙のやり取りが、出来るよう支援しています。本人がほしいものがあるときは、電話で家族にいらせている。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内の空間を活かして、居場所となる、スペースを、数ヶ所作っている。季節の花を、飾ったりして、季節感を採り入れ、居心地良く過ごせるように、している。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った利用者同士が、自由に居室に遊びに行ったり、ホーム内の談話室を利用して、過ごせるように工夫している。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>写真を飾ったり、室内洗濯干しを、持ってきてもらったり、使い慣れた寝具、私物の多いかたは、ダンスの他にクリアケースなどを、利用したり、生活しやすい様に、家族のかたにも協力してもらっている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自分の居室がわかるように、花や飾り物があったり、場所の名称が、かいてある。現在、身体の重度化が進み、「できること」を活かして、生活がおくれるようにしている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない